



企業見学で感じた「職場の温かい雰囲気」に惹かれて入社を決めたという矢野さん。事務所の掃除や来客時のお茶出しなどをしていきます。皆さん、優しく声をかけてくれるところが嬉しいそうです。栗山町の好きなところを聞くと「家から会社へ通うときの景色と見晴らしの良さが好きです」と話していました。

矢野 遥夏さん (18)
共立道路株式会社

景色の良さが好きです

職場の温かい雰囲気と景色の良さに惹かれました

高校で取得したパソコンの資格を生かせる、事務系の仕事に就きたかったという酒井さん。売上日報などの集計をしています。学生時代と比べて変わったことを聞くと「学生の頃は、何事にも楽しいが前提でしたが、社会人になると責任感を持ち、広い視野で物事を見るのが大切だと感じました」と話していました。

霧囲気が良く「ここで働きたい」と思いました

酒井 珠実さん (18)
共立道路株式会社



近藤 佳希さん (18)
共立道路株式会社

生まれ育ったまちで働く
生まれも育ちも栗山町。栗山高校を卒業し、この町で働きたかったと話してくれた近藤さん。早く仕事を覚えて先輩たちの役に立ちたいと毎日勉強中です。「けがをしないで安全に仕事をします」と話していました。

生まれ育ったまちで働く

取締役に関わりました



大井川 幹昌 取締役

3人ともとても素直で真面目で、礼儀作法もしっかりとしています。何事も吸収しようという意欲を持っているという印象で、その姿勢が既存社員にもいい影響を与えていると感じています。まずは新しい環境に慣れることから始め、失敗を恐れずに何事にもチャレンジしてほしいです。若い世代のフレッシュな発想やアイデアで組織を活性化してくれることを期待しています。

特集

キラリ[★]輝く新社会人

—「くりやま」で働く若者のエピソード—

この春から期待と不安を胸に、ふるさと「くりやま」で働く新社会人の皆さん。
都会に憧れ、
地元から離れる人も少なくない中、くりやまで働こう！と瞳を輝かせています。
慣れない仕事に苦勞しながらも、ひたむきに仕事に励む6人。社会人となった一人ひとりに胸に秘めた思いを聞きました。





平田 侑大さん (20)
くりのさと

利用者さんとお話するのが楽しい
北海道介護福祉学校を卒業して、町内の特別養護老人ホームに就職した平田さん。お年寄りとお話をしたりすることが好きで、この仕事を選んだそうです。栗山町の良いところを聞くと「お店が多くて買い物に困らないところ、町の人が一体になって、介護に関わっているところだ」と話していました。

介護が充実している栗山町で働きたいと思いました



主任に聞きました



越前谷 啓 介護主任

素直で物静かな面もありますが、利用者に優しく接しているところが好印象です。いろいろ覚えることが多く、難しい職種ですが、少しずつ仕事を覚え、一人前になってほしいです。みんな育て、みんなで働きたいです。



新社会人の熱い思いを書いてもらいました!



竹谷 常伸さん (21)
南空知消防組合消防署

救急救命士として町に貢献したい
東日本大震災の時、消防士や救急救命士の活躍をみて、自分も消防士として町に貢献したいと思い、救急救命士の資格を取得したという竹谷さん。「今は、教育期間中で、訓練の毎日ですが、やりがいがあります。いいです」と話していました。



内田 大稀さん (21)
南空知消防組合消防署

小さい頃から憧れていた「消防士」になる夢
テレビや職場体験で見た消防士に憧れ、この仕事を選んだという内田さん。「体力を使う訓練が多く、大変ですが、やりがいがあります。図つて、体調管理にも気を付けています」と話していました。

安全安心を守る消防士として町に貢献したい

指導担当に聞きました



大谷 優 消防司令補

2人とも、真面目で一生懸命な姿勢が非常に好印象です。まだ、消防人としてスタートしたばかりなので、この先、10年、20年後も初心を忘れることなく常に謙虚で努力を惜しまない人間になってほしいです。そして、何より1日でも早く、町民の方々の信頼に応えられる消防士に成長することを期待しています。